

ONKYO®

COMPACT DISC CHANGER

DX-C390

取扱説明書

お買い上げいただきまして、ありがとうございます。
ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しくお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られる所に保証書とともに大切に保管してください。

はじめに 2

接続する 11

基本操作する 13

応用設定をする 19

その他 25

目次

はじめに.....	2
本機の特長.....	2
箱の中身を確認する.....	2
安全上のご注意.....	3
ディスクに関する注意事項.....	5
本機について.....	7
前面パネル.....	7
表示部.....	8
後面パネル.....	8
リモコン.....	9
本機を使用する前に.....	10
乾電池を入れる.....	10
リモコンの使いかた.....	10
本機を接続する.....	11
オーディオ接続.....	11
RI 接続.....	12
本機の電源をオンにする.....	13
本機の電源をオンにする.....	13
基本再生.....	13
ディスクを読み取る.....	13
再生を開始する.....	14
ディスクを選択する.....	14
再生中にディスクを読み取る.....	14
表示部の明るさを調整する.....	14
基本操作.....	15
MP3 を選択する.....	16
トラックを番号で選択する.....	17
MP3 フォルダとトラックを番号で選択する.....	17
情報を表示する.....	18
いろいろな再生機能.....	19
次のトラックや次のフォルダ、 次のディスクへ移動する.....	19
すべてのディスクをリピート再生する.....	20
1トラックまたは1フォルダ、ディスク1枚を リピート再生する.....	20
ランダム再生を使用する.....	20
メモリー再生を使用する.....	21
MP3 とオートパワーダウン.....	23
MP3 とオートパワーダウンを設定する.....	23
MP3 設定を初期化する.....	24
困ったときは.....	25
仕様.....	26

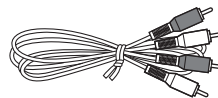
はじめに

本機の特長

- 6ディスクCDチェンジャー
- MP3再生
- 24bit192 kHz D/Aコンバーター
- 128倍オーバーサンプリング
- VLSC (Vector Linear Shaping Circuitry)
- ダイレクトデジタルパス
- 再生しながら待機中の残り5枚のディスクを交換可能
- 次項選択機能で、次に再生したいトラックやディスクの頭出しが可能
- リピート再生：全ディスク、1ディスク、ランダムトラック、メモリートラック、ランダムメモリー、ランダムメモリーシングルフォルダ、シングルトラック
- 40トラックメモリー再生
- AUDIO OUTPUT DIGITAL (COAXIAL/OPTICAL) 端子装備
- ANALOG AUDIO OUTPUT端子装備
- **RI** 連動リモートコントロール
- オートパワーダウン (オフ/オン)

箱の中身を確認する

下記の付属品が同梱されていることを確認してください。



オーディオ用ピンケーブル



RIケーブル



リモコン (RC-777C)、単3形乾電池 (AA/R6) ×2

- 取扱説明書 (本書)
- 保証書

* カタログおよび包装箱などに表示されている型名の最後のアルファベットは、製品の色を表す識別記号です。仕様および動作は本体色に関わらず同一です。

安全上のご注意

安全にお使いいただくため、ご使用前に必ずお読みください。

- ご使用前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。
- お読みになった後は、本書をいつでも見られる所に保管してください。

この安全上のご注意、取扱説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。



警告

誤った使い方をすると、火災・感電などにより死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。



注意

誤った使い方をすると、けがをしたり周辺の家財に損害を与える可能性が想定される内容です。

警告

- 感電の危険を避けるために、カバーなどを取り外さないでください。修理を行う場合は、資格のあるサービス技術者に修理を依頼してください。また、通風孔やディスクの挿入口、ダクトなどから金属や燃えやすいもの、その他異物を挿入しないでください。火災・感電の原因となります。
- 本機は防水仕様ではありません。火災や感電の危険を避けるために、本機の内部に水が入ったり、濡れないようご注意ください。本機の近くに液体が入った容器(花瓶など)を置いたり、雨や湿気にさらさないでください。また、風呂場や屋外の水辺などでは使用しないでください。
- 本機の上に火がついた口ウソクなどの裸火を置かないで下さい。火災の原因になります。
- 本機の使用環境温度範囲は5℃～35℃、使用環境湿度は85%以下(通風孔が妨げられていないこと)です。風通しの悪いところや湿度が高すぎる場所、直射日光の当たる場所に設置しないでください。
- 小さな部品はお子様や幼児の手の届かない場所に保管してください。誤って飲み込んだ場合は、ただちに医師にご連絡ください。
- 電源ケーブルはプラグを持ってコンセントに抜き差ししてください。ケーブルを持って抜き差しすると断線などの危険性が生じます。また、濡れた状態で電源ケーブルに触れないでください。感電の原因になります。本機や家具などを電源ケーブルの上に置いたり挟んだりしないでください。電源ケーブルが傷ついた場合、火災や感電の原因となります。損傷した場合は修理を依頼してください。電源プラグの差し込みが不完全のまま使用すると、感電、発熱による火災の原因となります。プラグが簡単に抜けてしまうようなコンセントは使用しないでください。

- 電源プラグにほこりなどがたまっていると、火災の原因となります。定期的に電源プラグを抜いて、乾いた布でほこりを取り除いてください。
- 次のような異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに電源プラグをコンセントから抜いて販売店に修理・点検を依頼してください。煙が出ている、変なおいや音がする。/本機を落としてしまった。/本機内部に水や金属が入ってしまった。また、万一内部に水や異物が入ったときや、本機を落としたりカバーが破損した場合は、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店に修理・点検を依頼してください。
- 長期間音がひずんだ状態で使用しないでください。アンプなどの電気回路が発熱し、火災の原因となることがあります。また、長期間大きな音で使用しないでください。聴力が大きく損なわれる恐れがあります。音量は少しずつ上げてご使用ください。はじめから音量を上げすぎると、突然大きな音が出て耳を傷めることがあります。
- ディスク挿入口に手を入れないでください。特に小さなお子様のいるご家庭では注意してください。
- 電池を直射日光の強いところや、炎天下の車内・ストーブの前などの高温の場所で使用・放置しないでください。電池の液漏れ、発熱、破裂、発火の原因になります。また、過熱や分解したり、火や水の中に入れてください。電池の破裂、液漏れにより危険です。電池から漏れ出た液にはさわらないでください。万一、液が目や口に入ったり皮膚についた場合は、すぐにきれいな水で充分洗い流し、医師にご相談ください。

注意

- 強度の足りないぐらついた台や振動する場所に置いたり、本機に乗ったりぶら下がったりしないでください。本機が落下したり倒れたりして、けがの原因となることがあります。また、本機を調理台や加湿器のそばなど油煙、湿気あるいはほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 本機を設置する際は、放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して設置してください。ラックなどに入れるときは、換気が十分であることを確認のうえ、本機の天面と側面には20 cm、背面から10 cm以上のすきまを空けてください。また、本機の上の棚や背面のボードからは10 cm以上離して設置し、暖かい空気が逃げるための煙突のようなすきまをつくってください。すきまがないと、内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。また、通風孔が設けられている場合は、布などをかけたり、横倒しなどしないでください。通風孔がふさがれて、火災の原因となることがあります。
- 配線ケーブルに気をつけてください。配線された位置によっては、つまずいたり引っかけたりして、落下や転倒など事故の原因となることがあります。

安全上のご注意（つづき）

- 製品の仕様によっては、電源スイッチなどを操作することで表示部がすべて消えた状態となり、電源プラグをコンセントから抜いた状態と変わらなく見える場合がありますが、電源の供給は停止していません。製品を電源から完全に遮断するためには、電源プラグをコンセントから抜く必要があります。製品はコンセントの近くで、電源プラグに容易に手が届くように設置してください。電源プラグを長期間差したままにすると、火災の原因となることがあります。
- 本機の電源ケーブルはこの機器のみで使用することを目的とした専用部品です。他の電気製品ではご使用になれません。他の電気製品で使用した場合、発熱により火災・感電の原因となることがあります。また電源ケーブルは本製品に付属のもの以外は使用しないで下さい。他の電源ケーブルを使用した場合、この機器の本来の性能が出ないことや、電流容量不足による発熱から火災・感電の原因となることがあります。
- 本機を使用できるのは日本国内のみです。表示された電源電圧以外で使用すると、火災・感電の原因となります。
- 雷が鳴り出したら本機、接続機器、電源プラグ、アンテナ、接続ケーブルなどに触れないでください。感電の原因となります。
- 本機通風孔付近は放熱のため高温になることがあります。電源が入っているときや、電源を切ったあとしばらくは通風孔付近にご注意ください。
- この製品は、レーザー製品の安全基準IEC 60825-1:2007 規格の基で評価されたクラス1レーザー製品です。レーザー光源をのぞきこまないでください。視力障害を起こすことがあります。

クラス1レーザー製品

- 移動時は電源プラグや接続ケーブルをはずしてください。また、本機の上に他の機器を乗せたまま移動しないでください。落下や転倒してけがの原因になります。
- 電池は指定以外のものを使用しないでください。新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池を使い切ったときや長期間リモコンを使用しないときは電池を取り出すようにしてください。コインやネックレスなどの金属物と一緒に保管しないでください。

その他

- 音のエチケット :楽しい映画や音楽も、時間と場所によっては気になるものです。隣近所への配慮を充分にしましょう。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。
- 不要になった電池を廃棄する場合は、プラス(+)マイナス(-)端子に絶縁テープを貼るなどして、各地方自治体の指示(条例)に従って処理してください。
- 本機のお手入れについて：表面の汚れは、中性洗剤をうすめた液に布を浸し、固く絞って拭き取ったあと乾いた布で拭いてください。化学ぞうきんなどお使いになる場合は、それに添付の注意書きなどに従ってください。シンナー、アルコールやスプレー式殺虫剤を本機にかけないでください。塗装が落ちたり変形することがあります。
- 機器内部の点検について：お客様のご使用状況によって、定期的に機器内部の掃除をお勧めします。本機の内部にほこりがたまったまま使用していると火災や故障の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。内部清掃については、販売店にご相談ください。

ディスクに関する注意事項

CDの再生について

CD（コンパクトディスク）はディスクラベル面に下記のマークの入ったものをご使用ください。

ディスク	ロゴ	フォーマットまたはファイルタイプ
オーディオ CD		PCM
CD-R		オーディオ CD、MP3
		MP3
CD-RW		オーディオ CD、MP3
		MP3
CD Extra		オーディオ CD (セッション 1)、MP3 (セッション 2)

- オーディオCDには、正式な標準CD仕様に従わないコピー保護を用いているものがあります。こうした非標準ディスクは、本機で正しく再生できない場合があります。
- 本機はCD-R/CD-RWに記録した音楽データを再生することができます。しかし、CD-RとCD-RWは、ディスク作成機能の特性、ディスクそのものの特性、ディスクの損傷または汚れなどの原因で、正しく再生されない場合があります。詳細については、ご使用のディスク作成機能の取扱説明書を参照してください。
- 本機は、8cmディスクと12cmディスクに対応しています。
- 本機は、上記以外のディスクタイプはサポートしていません。
- ハート型や八角形など特殊形状のディスクは使用しないでください。ディスクがつかまるなど機器の故障の原因となります。



- CDにセロハンテープやレンタルCDのラベルなどのりがはみ出したり、剥がしたあとがあるもの、また飾り用のシールを貼ったものは使用しないでください。CDが取り出せなくなったり、故障する原因となります。

パソコンで作成されたディスク

レコーダー、またはパソコンで記録したディスクを再生できないことがあります。(原因：ディスクの特性、傷、汚れ、プレーヤーのレンズの汚れ、または結露など) パソコンで記録したディスクはアプリケーションの設定、および環境によって再生できないことがあります。正しいフォーマットで記録してください。(詳細はアプリケーションの発売元にお問い合わせください)

MP3互換性

- MP3ディスクは、ISO 9660レベル1またはレベル2、RomeoまたはJoliet準拠のものである必要があります。
対応形式：Mode1、Mode2 XA Form1
- フォルダは8階層まで対応します。
- MP3ファイルは、MPEG1/MPEG2 オーディオレイヤー 3フォーマットであり、サンプリング周波数8kHzから48kHz、ビットレート8kbpsから320kbps (128kbps推奨) のものである必要があります。非互換のファイルは再生できません。
- 固定ビットレートのMP3ファイルが推奨されますが、8kbpsから320kbpsの範囲で可変ビットレート(VBR)のMP3ファイルも対応しています。VBR再生中は表示部の時間情報などが正しく表示されないことがあります。
- 「.mp3」、または「.MP3」という拡張子がついたMP3ファイルのみ再生することができます。それ以外の拡張子を持つMP3ファイルは認識されません。ノイズや誤動作を防止するため、拡張子を他のファイル形式に使用しないでください。
- 本機は、一枚のディスク内でのフォルダ数上限を99として、ファイルおよびフォルダについて合計499まで認識・再生することができます。ファイル/フォルダ構成が複雑な場合、本機はディスク内のすべてのMP3ファイルを認識できない場合や再生できない場合があります。
- 表示可能なディスク名、ファイル名、およびフォルダ名は32文字までです。
- 1トラックの最大表示できる時間は99分59秒です。
- MP3ファイルの再生時、残り時間は表示されません。
- MP3ファイル名およびフォルダ名(拡張子を除く)はディスプレイに表示されます。
- マルチセッションディスクはサポートしていますが、ロードに時間が掛かるものやロードできない場合があります。CDを焼く場合、シングルセッション(DAO: disc-at-once)に「Disc Close」を適用することが推奨されます。
- 通常、CD Extraディスクのオーディオセッション内の音楽が再生されます。また、CD-R/CD-RWディスクのデータセッション内のMP3ファイルを再生するよう本機を設定することもできます。データセッションにMP3トラックが無い場合は、オーディオセッションが再生されます。詳細は「MP3とオートパワーダウン」(➡ P 23) をご確認ください。

ディスクに関する注意事項（つづき）

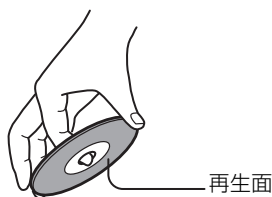
- サポートされるID3タグは、バージョン1.0/1.1および2.3/2.4です。バージョン2.2/2.5以降はサポートされていません。通常、バージョン2.3/2.4のタグが「EXTRA ITEMS」(➡ P 24)に記載のID3 VER 1プリファレンスに関係なく優先され、表示されます。
- ID3バージョン2のタグについては、ファイルの最初の2,048バイト内の情報が認識されます。ID3タグについては、タイトル、アーティスト名、アルバム名のみを含めるようにすることが推奨されます。圧縮、暗号化、非同期化されたID3タグは表示できません。

ご注意

- 多数のファイルやフォルダ、およびMP3以外のファイルが記録されているCD-ROM、CD-R、およびCD-RWは、読み込みに時間がかかることがあります。使用するディスクにはMP3ファイルのみを収容し、フォルダ数は20まで、フォルダ階層は3階層までに制限することが推奨されます。
- 本書では、MP3ファイルはトラックと呼ばれます。

取り扱いについて

- 再生面（印刷されていない面）に触れないように、両端をはさむように持つか、中央の穴と端をはさんで持ってください。



- 再生面はもちろんラベル面に紙やシールを貼ったり、文字を書いたりしないでください。また傷などをつけないようにしてください。



CDのお手入れについて

汚れにより信号が読み取りにくくなり、音質が低下する場合があります。汚れている場合は、再生面についた指紋やホコリを柔らかい布でディスクの内周から外周方向へ軽く拭いてください。



- 汚れがひどい場合は、柔らかい布を水で湿してよく絞ってから汚れを拭き取り、そのあと柔らかい布で水気を拭き取ってください。
- アナログレコード用スプレー、帯電防止剤などは使用できません。また、ベンジンやシンナーなどの揮発性

の薬品は表面が侵されることがありますので絶対に使用しないでください。

ディスクの保管

- 直射日光のあたる場所や熱源の近くなどにディスクを保管しないでください。
- 浴室や加湿器のそばなど多湿になる場所にディスクを保管しないでください。
- ディスクは必ず付属のケースに収納し、垂直に保管するようにしてください。ディスクを収納せず、重ねたり、上に物を置いたりすると、ゆがみや傷などの損傷することがあります。

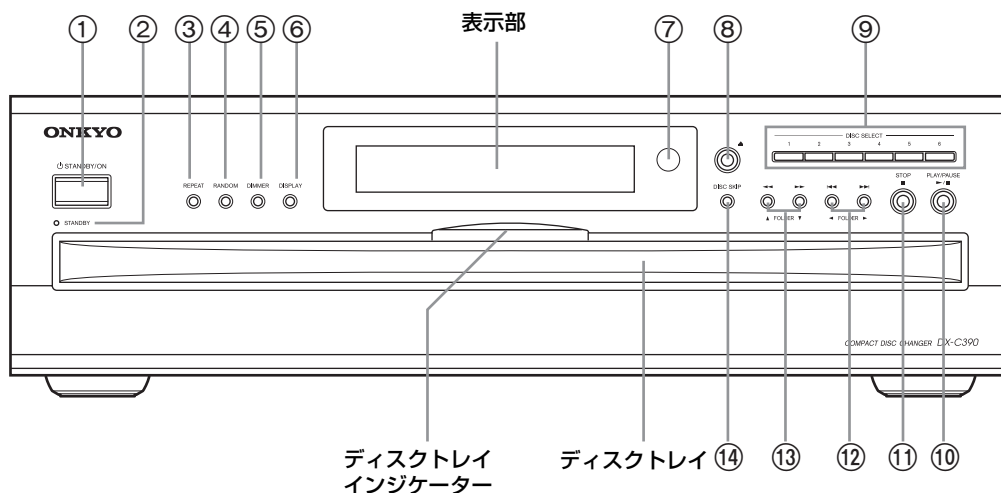
結露について

本機を冷えた所から暖かい部屋に持ち込んだり、寒い部屋をストーブなどで急に暖めた場合、本機の内部に水滴がつくことがあります。これを結露といいます。そのままでは正常に働かないばかりではなく、ディスクや部品も傷めてしまいます。本機をご使用にならないときは、ディスクを取り出ししておくことをおすすめします。結露しているおそれがある場合は、電源コードを抜き、3時間以上室温で放置してからご使用ください。

本機について

前面パネル

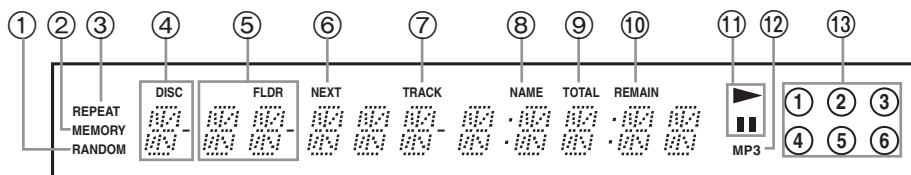
詳細については () 内のページをご覧ください。



- ① **STANDBY/ONボタン (⇒ P 13)**
本機の電源をオンまたはスタンバイに設定します。
- ② **STANDBYインジケータ (⇒ P 13)**
本機がスタンバイモードのときに点灯します。
- ③ **REPEATボタン (⇒ P 20)**
リピート再生を設定します。
- ④ **RANDOMボタン (⇒ P 20)**
ランダム再生を設定します。
- ⑤ **DIMMERボタン (⇒ P 14)**
表示部を消灯したり、明るさを2段階で切り換えることができます。
- ⑥ **DISPLAYボタン (⇒ P 18)**
現在のディスクまたはトラックの経過時間、残り時間、合計時間に関する情報やMP3トラックに関する様々な情報を表示することができます。
- ⑦ **リモコン受光部 (⇒ P 10)**
リモコンからの信号を受信します。
- ⑧ **[▲]ボタン (⇒ P 13)**
ディスクの開閉に使用します。
- ⑨ **DISC SELECTボタン (⇒ P 14)**
ディスクの選択に使用します。ディスクを選択すると、再生は自動で始まります。
- ⑩ **PLAY/PAUSE [▶/||]ボタン (⇒ P 14、15)**
再生または一時停止します。
- ⑪ **STOP [■]ボタン (⇒ P 15)**
再生の停止に使用します。
- ⑫ **[◀◀]/[▶▶]、FOLDER [◀]/[▶]ボタン (⇒ P 15、16)**
前の曲や次の曲の選択、およびMP3ディスクのフォルダ間移動に使用します。
- ⑬ **[◀◀]/[▶▶]、FOLDER [▲]/[▼]ボタン (⇒ P 15、16)**
早送り/早戻しやMP3ディスクのフォルダ間移動に使用します。
- ⑭ **DISC SKIPボタン (⇒ P 13、14)**
ディスクの読み込み時や取出し時にディスクトレイを回転させ、再生するディスクを選択するのに使用します。

本機について (つづき)

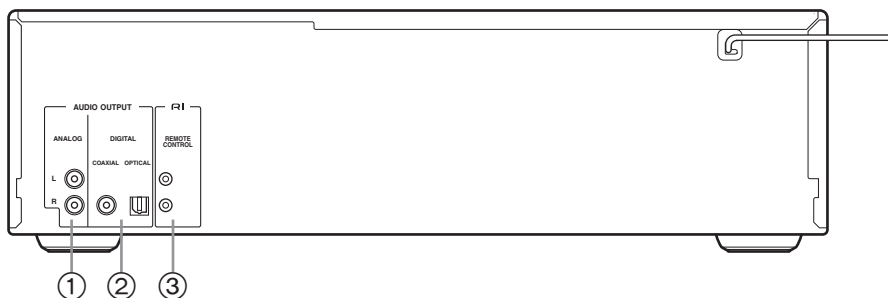
表示部



詳細については () 内のページをご覧ください。

- ① **RANDOMインジケータ** (⇒ P 20)
- ② **MEMORYインジケータ** (⇒ P 21)
- ③ **REPEATインジケータ** (⇒ P 20)
- ④ **DISCインジケータ**
現在のディスク番号を表示します。
- ⑤ **FLDR (フォルダ) インジケータ**
停止中は、現在のMP3ディスク内の合計フォルダ数を表示します。再生中は、現在のフォルダ番号を表示します。
- ⑥ **NEXTインジケータ** (⇒ P 19)
次項選択機能の使用時に表示されます。
- ⑦ **TRACKインジケータ**
停止中は、現在のMP3ディスク内の合計トラック数を表示します。再生中は、現在のトラック番号を表示します。
- ⑧ **NAMEインジケータ**
現在のディスクがMP3ディスクであり、ディスク、フォルダ、トラックが表示されている場合に点灯します。
- ⑨ **TOTALインジケータ** (⇒ P 18)
総残り時間が表示されている場合に点灯します。
- ⑩ **REMAINインジケータ** (⇒ P 18)
- ⑪ **再生▶/一時停止||インジケータ**
- ⑫ **MP3インジケータ**
- ⑬ **ディスクインジケータ 1-6** (⇒ P 13)

後面パネル

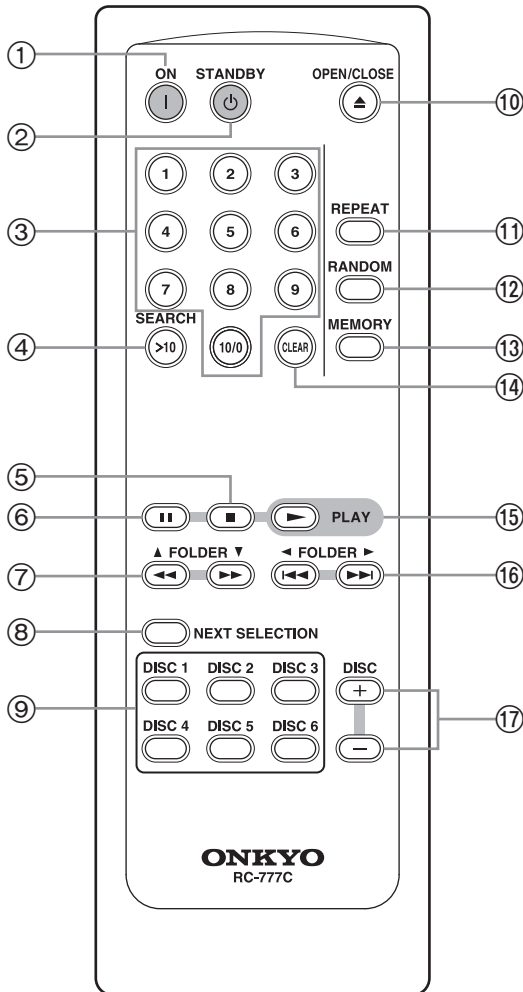


詳細については () 内のページをご覧ください。

- ① **AUDIO OUTPUT (ANALOG)端子** (⇒ P 11, 12)
付属のオーディオ用ピンケーブルを使って、アンプなどのアナログ音声入力端子と接続します。
- ② **AUDIO OUTPUT DIGITAL (OPTICAL/COAXIAL) 端子** (⇒ P 11)
OPTICAL 端子は市販のオーディオ用光デジタルケーブルを使って、COAXIAL 端子は市販の同軸デジタルケーブルを使って、録音機器やアンプなどのデジタル音声入力端子と接続します。2つの端子は、同じデジタル音声を出力します。
- ③ **RI REMOTE CONTROL端子** (⇒ P 12)
RI 端子のあるオンキヨー製アンプなどと接続し、連動させるための端子です。
RI ケーブルの接続だけでは連動しません。オーディオ用ピンケーブルも正しく接続してください。

本機について (つづき)

リモコン

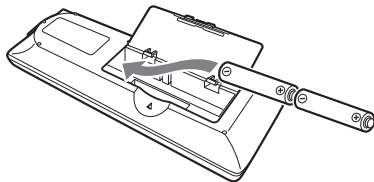


詳細については () 内のページをご覧ください。

- ① **ONボタン (⇒ P 13)**
本機の電源をオンにします。
- ② **STANDBYボタン (⇒ P 13)**
本機をスタンバイ状態にします。
- ③ **数字ボタン (⇒ P 17)**
トラック番号やMP3フォルダ番号を入力するために使用します。
- ④ **SEARCH (>10) ボタン (⇒ P 17)**
10以上の曲番号の選択や、MP3フォルダの番号を選択します。
- ⑤ **[■]ボタン (⇒ P 15)**
再生を停止します。
- ⑥ **[⏏]ボタン (⇒ P 15)**
再生を一時停止します。
- ⑦ **[◀◀]/[▶▶]、FOLDER [▲]/[▼]ボタン (⇒ P 15、16)**
早送り/早戻し、およびMP3ディスクのフォルダ間移動に使用します。
- ⑧ **NEXT SELECTIONボタン (⇒ P 19)**
次項選択機能による次トラックへの移動に使用します。
- ⑨ **ディスク選択[DISC 1]-[DISC 6]ボタン (⇒ P 14)**
ディスクの選択に使用します。いずれかのボタンでディスクを選択すると、再生は自動で始まります。
- ⑩ **OPEN/CLOSE [▲]ボタン (⇒ P 13)**
ディスクトレイを開閉します。
- ⑪ **REPEATボタン (⇒ P 20)**
リピート再生を設定します。
- ⑫ **RANDOMボタン (⇒ P 20)**
ランダム再生を設定します。
- ⑬ **MEMORYボタン (⇒ P 21)**
曲を登録してプレイリストを設定します。
- ⑭ **CLEARボタン (⇒ P 22)**
プレイリストの登録を取り消します。
- ⑮ **PLAY [▶]ボタン (⇒ P 14)**
曲を再生します。
- ⑯ **[▶▶]/[◀◀]、FOLDER [◀]/[▶]ボタン (⇒ P 15、16)**
前の曲や次の曲の選択、およびMP3ディスクのフォルダ間移動に使用します。
- ⑰ **DISC [+]/[-]ボタン (⇒ P 14)**
ディスクの選択に使用します。

本機を使用する前に

乾電池を入れる

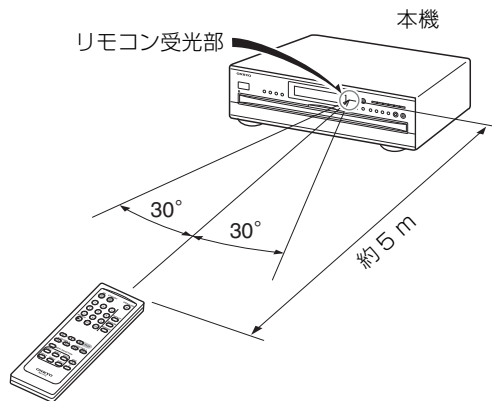


⚡ ご注意

- 電池は使用頻度により異なりますが、約半年使用することができます。
- リモコン操作の反応が悪くなったときは、古い電池を取り出して、2本とも新しい電池と交換してください。
- 種類の異なる電池や、新しい電池と古い電池を混用しないでください。
- 長期間リモコンを使用しないときは、電池の液漏れを防ぐために、電池を取り出しておいてください。
- 消耗した電池を入れたままにしておくと、腐食によりリモコンを傷めることになります。

リモコンの使いかた

リモコンを本機のリモコン受光部に向けて使用してください。



⚡ ご注意

- リモコン受光部に直射日光やインバーター蛍光灯などの強い光を直接当てると正しく動作しないことがあります。
- 赤外線を使った機器の近くで使用したり、他のリモコンを併用すると誤動作の原因となります。
- リモコンの上に本など、ものを置かないでください。ボタンが押し続けられた状態になり、電池が消耗してしまいます。
- オーディオラックのドアに色付きガラスを使っていると、リモコンが正常に機能しないことがあります。
- リモコンとリモコン受光部の間に障害物があると操作できません。

本機を接続する

オーディオ接続

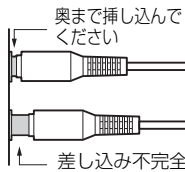
- 接続する機器の取扱説明書も必ずお読みください。
- 電源コードは全ての接続が終わるまでつながないでください。

アナログ音声出力

本機のAUDIO OUTPUT ANALOG 端子とアンプのアナログ音声入力端子を接続します。

ご注意

- 入力端子は赤いコネクタを右チャンネル（R の表示）、白いコネクタを左チャンネル（L の表示）に接続してください。
- コードのプラグはしっかりと奥まで差し込んでください。接続が不完全ですと、雑音や動作不良の原因になります。
- オーディオ用ピンケーブルは電源コードやスピーカーコードと束ねないでください。音質が悪くなることがあります。
- 電磁干渉を防止するため、オーディオ用ピンケーブルは電源コードやスピーカーケーブルから離して配線してください。



デジタル音声出力

本機のAUDIO OUTPUT DIGITAL 端子とアンプや録音機器のデジタル音声入力端子を接続します。デジタル音声入力端子のあるアンプと接続するときや、デジタル録音するときは、この接続をしてください。OPTICAL 端子とCOAXIAL 端子は同じ信号を出力します。

ご注意

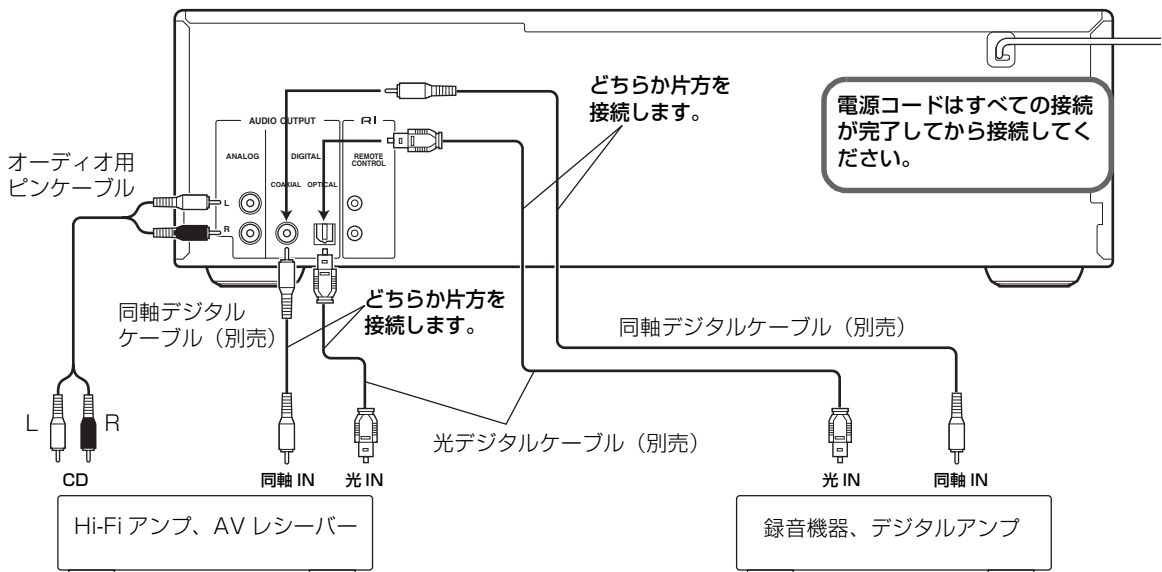
- MP3音源については、デジタル出力はサンプリングレート32kHz、44.1kHz、48kHzにのみ対応します。

光デジタル出力について

本機の光デジタル出力端子はとびらタイプです。とびらをそのまま奥へ倒すようにして光デジタルケーブルを差し込んでください。

ご注意

光デジタルケーブルは、まっすぐ抜き差ししてください。ななめに抜き差しすると、とびらが破損する場合があります。



本機を接続する(つづき)

RI 接続

付属の RI ケーブルを使って RI 端子の付いたオンキヨー製AV アンプやAV レシーバーなどを接続すると、Hi-Fi アンプやAV レシーバーなどに付属のリモコンを使って本機を操作することができます。RI 端子は RI 端子付き製品と組み合わせてご使用ください。

RI (リモートインタラクティブ) 機能で、以下のシステム機能を利用できます。

■オートパワーオン

本機がスタンバイモードになっている状態で、RI 接続されている機器の再生を始めると、自動で本機の電源が入り、該当する機器が入力ソースに選ばれます。

■ダイレクトチェンジ

RI 接続されている機器の再生が始まると、その機器が入力ソースに選ばれます。

■オートパワーオフ

本機の電源を切ると、RI 接続されている機器の電源が自動でオフになります。

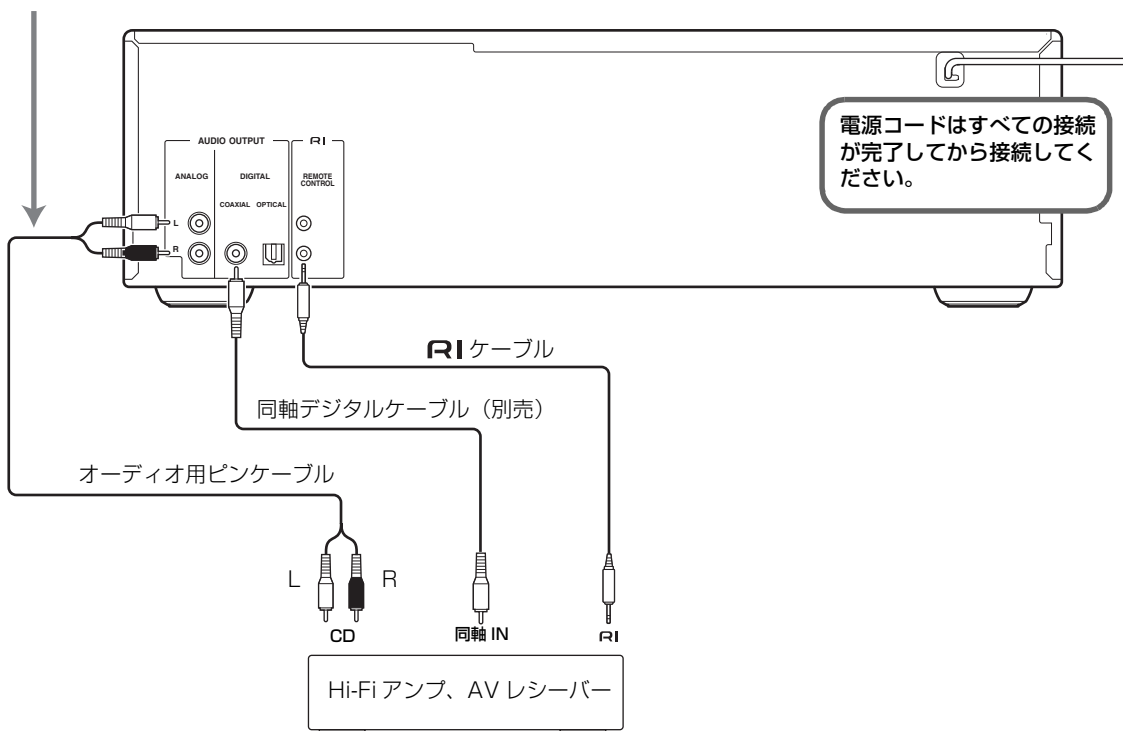
■Dimmer機能

RI 互換のオンキヨー製品の表示部の明るさを切り換えると、RI で接続されている他すべてのオーディオ機器の表示部の明るさも切り換えられます。

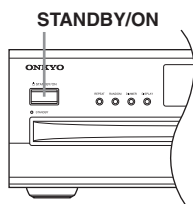
⚡ ご注意

- RI 接続には、RI ケーブルのみを使用してください。
- RI 機能を使用するには、オーディオ用ピンケーブルで接続します。
- RI 端子が2つある場合、2つの端子の働きは同じです。どちらにでもつなげます。
- 本機の RI 端子は、オンキヨー製オーディオ機器のみ接続してください。他社製品と接続すると故障する場合があります。
- 製品によっては、RI 接続をしても一部の機能が働かないことがあります。使用できるシステム機能については、各機器の取扱説明書をご参照ください。

RI 端子の接続だけではシステムとして働きません。オーディオ用ピンケーブルも正しく接続してください。



本機の電源をオンにする



本機の電源をオンにする

本機の電源をオンにする前に、すべてのオーディオ機器との接続を完了してください（⇒ P 11）。

ただし、使用するアンプの電源はオンにし、本機が接続されているオーディオ入力を選択するようにしてください。

1

電源コードをコンセントに接続する。

2

[STANDBY/ON] ボタンまたはリモコンの[ON] ボタンを押す。

本機の電源が入り、表示部が点灯し、ディスクトレイインジケータが点灯します。STANDBYインジケータは消灯します。

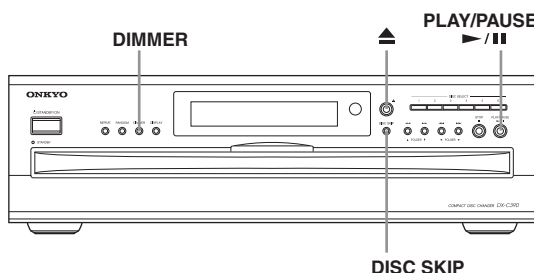
電源がオンになると、本機はトレイ上のディスクを確認し、検出された最初のディスクを選択します。

本機をスタンバイに設定するには、[STANDBY/ON] ボタンまたはリモコンの[STANDBY] ボタンを押します。

ヒント

本機の電源をオンすると同時に、OPEN/CLOSE [▲] ボタンやPLAY [▶] ボタンを押すだけで、ディスクトレイを開いたり、再生を開始したりできます。その場合、本機が起動するまでやや時間がかかります。

基本再生



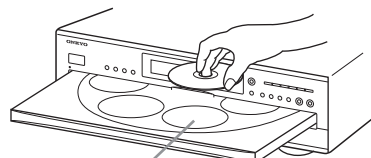
ディスクを読み取る

1



[▲] ボタンを押して、ディスクトレイを開く。

ラベル面を上にして、ディスクを各ディスクトレイにセットする。



2

DISC SKIP



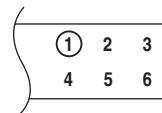
(他のディスクトレイを使用する場合) [DISC SKIP] ボタンまたは、リモコンのDISC [+]/[-] ボタンでディスクトレイを回転する。

空のディスクトレイにディスクをセットします。

3



もう一度 [▲] ボタンを押して、ディスクトレイを閉じる。



現在のディスクの番号には、円が表示されます。

ご注意

- 本機は、8cmディスクと12cmディスクに対応しています。ディスクと本機を損傷させないように、ディスクは必ずディスクトレイの中央に配置してください。
- 本機が対応するディスクのみをセットしてください。（⇒ P 5）。
- ディスクトレイを閉じる際には、挿入口に手を近づけないようにしてください。けがの原因となることがあります。
- ディスクトレイの開閉には、必ず[▲] ボタンを使用してください。ディスクトレイを押し込まないようにしてください。また、開閉中のディスクトレイに触れるなど、ディスクトレイの動作を妨げないようにしてください。開いた状態のディスクトレイを下に押さないようにしてください。ディスクまたは本機が損傷するおそれがあります。

基本再生 (つづき)

再生を開始する

PLAY/PAUSE



PLAY [▶] ボタンを押して、再生を開始する。



再生は現在のディスクの最初の曲から始まり、順に次のディスクへ移行し、ディスク6の再生完了で停止します。空のディスクトレイはスキップされます。

便利な機能：いずれかのDISC SELECT ボタンを押すと、対応するディスクの再生が自動で始まります。

ヒント

- ディスクトレイを閉じたとき、現在のディスクは前方右側のトレイに配置されているものになります。ディスクトレイを開いたとき、前方右側のディスクトレイに配置されているものが現在のディスクに該当します。
- ディスクトレイを閉じたとき、本機が各ディスクトレイにディスクがあるかどうかを確認し終わるまで、すべてのディスクインジケータが点灯します。ディスクのないトレイが検出されると、対応するインジケータは消灯します。

ディスクを選択する

ディスクの選択方法について説明します。

リモコン



停止中

DISC SELECT ボタンでディスクを選択します。再生は自動で始まります。[DISC SKIP] ボタン、または、リモコンのDISC [+]/[-] ボタンを使用してディスクを選択することもできます。この場合、PLAY [▶] ボタンを押して再生を開始します。

DISC SKIP



再生中

DISC SELECT ボタン、[DISC SKIP] ボタン、またはリモコンのDISC [+]/[-] ボタンでディスクを選択します。現在のディスクが再生を停止し、新たに選択されたディスクが再生されます。

PLAY/PAUSE



ディスクインジケータの、現在のディスクの番号は円表示で囲まれます。

再生中にディスクを読み取る

再生を停止することなく、ディスクを読み取ります。

1



[▲] ボタンを押して、ディスクトレイを開く。

現在再生中のディスクは本機の内部に移動しています。再生中のディスクが置かれていたトレイは空になっており、ディスクの出し入れもできません。

2

DISC SKIP



ディスクを読み取るか、または取り除き、[DISC SKIP] ボタンまたはリモコンのDISC [+]/[-] ボタンで対象のディスクトレイにアクセスする。

3



もう一度 [▲] ボタンを押して、ディスクトレイを閉じる。

再生を停止するか、別のディスクを選択するまで、現在のディスクの再生はそのまま続きます。

便利な機能：いずれかのDISC SELECT ボタンを押すと、ディスクトレイが閉じ、新たに選択されたディスクの再生が自動で始まります。

ご注意

- ディスクトレイが開いている場合、本機は次のディスクを再生することができません。ディスクの読み取りが完了したら、すぐにディスクトレイを閉じるようにしてください。

表示部の明るさを調整する

表示部の明るさは次のようにして調整することができます。

DIMMER



[DIMMER] ボタンをくり返し押して、表示部の明るさを調整する。

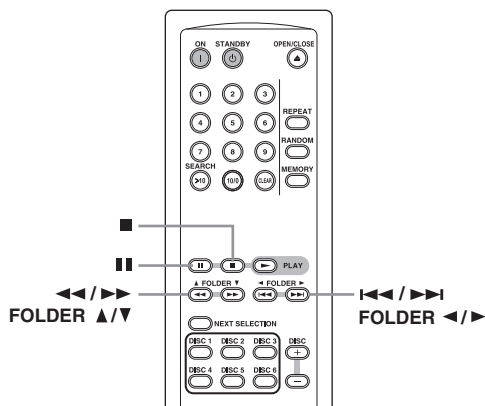
通常→やや暗い→暗い→通常…

- 明るさを調整するとディスクトレイインジケータが消灯します。

ヒント

ディスクトレイインジケータは、本機がオンになると点灯し、ディスクトレイが開いたときにより明るく点灯します。

基本再生 (つづき)



基本操作

■再生を停止する

リモコン



再生を停止するには、[■]ボタンを押す。

再生が停止し、表示部の再生▶インジケータが消灯します。

■再生を一時停止する

リモコン



再生を一時停止するには、[⏸]ボタンを押す。

再生は一時停止し、一時停止⏸インジケータが表示部に点灯します。再生を再開するには、PLAY [▶]ボタンまたは[⏸]ボタンを押します。再生が再開し、一時停止⏸インジケータは消灯します。

■早送りと早戻し

リモコン



再生中に早送りするには、[▶▶]ボタンを長押しする。

再生中に早戻しするには、[◀◀]ボタンを長押しする。

ボタンを離すと、早送りと早戻しは停止します。

ヒント

- ディスクの終わりまで早送りすると、早送りは停止し、次のディスクが再生されますが、そのディスクが最後のディスクの場合、再生は停止します。
- ディスクの先頭まで早戻しすると、早戻しは停止します。
- MP3ディスクについては、現在再生中のMP3トラック内でのみ早戻しすることができます。

■次トラックまたは前トラックを選択する

リモコン



次トラックを選択するには、[▶▶]ボタンを押す。

前トラックを選択するには、[◀◀]ボタンを押す。

再生中または再生の一時停止中に[◀◀]ボタンを押した場合、現在のトラックの先頭が選択されます。前のトラックの開始を選択するには、[◀◀]ボタンを二度押します。

再生停止中に[▶▶]または[◀◀]ボタンでトラックを選択した場合には、PLAY [▶]ボタンで再生を開始します。

ヒント

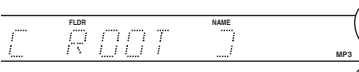

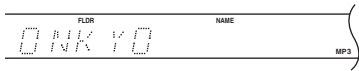



- MP3ディスクについては、別のフォルダ内のトラックを選択することができます。
- [▶▶]と[◀◀]ボタンは現在のディスク内のトラックのみを選択します。そのため、最後のトラックの再生中は、[▶▶]ボタンは機能せず、最初のトラックの再生中は、[◀◀]ボタンはそのトラックの開始を選択することになります。
- ランダム再生中、[▶▶]ボタンを使用して、次にランダム再生するトラック (➡ P 20) を選択することができます。
- メモリー再生中、[▶▶]と[◀◀]ボタンを使用して、メモリー内の次のトラックまたは前のトラック (➡ P 21) を選択することができます。(曲戻し/曲送り)

MP3を選択する

MP3トラックの選択には、ナビゲーションモードとオールフォルダモードの2つのモードがあります。

■ナビゲーションモードでMP3トラックを選択する

ナビゲーションモードでは、フォルダ階層を移動してMP3トラックを選択することができます。このモードは停止中のみ使用することができます。

1 	<p>停止中にFOLDER [▼]ボタンを押す。 本機はナビゲーションモードに設定され、「[ROOT]」が表示部に表示されません。</p> 
2 	<p>FOLDER [▼]ボタンをもう一度押す。 Rootの下の最初のフォルダ名が表示されます。</p>  <p>フォルダがない場合、最初のトラック名が表示されます。</p>
3 	<p>最初のフォルダと同じ階層にあるフォルダまたはトラックを選ぶには、FOLDER [◀]/[▶]ボタンを押す。 MP3トラックやフォルダを含まないフォルダは選択できません。</p>
4 	<p>最初の階層より下の階層にあるフォルダ内のトラックやフォルダを選ぶには、フォルダを選択し、FOLDER [▼]ボタンを押す。 FOLDER [◀]/[▶]ボタンで、フォルダ内のトラックとフォルダを選択することができます。</p>  <p>上の階層に戻るには、FOLDER [▲]ボタンを押します。</p>

■オールフォルダモードでMP3トラックを選択する

オールフォルダモードでは、MP3トラックを含むすべてのフォルダが同一のレベルで表示されるため、フォルダ階層を移動せずにMP3トラックを選択することができます。このモードは停止中のみ使用できます。

1 	<p>停止中にFOLDER [▲]ボタンを押す。 本機がオールフォルダモードに設定され、最初のフォルダ名が表示部に表示されます。</p> 
2 	<p>FOLDER [◀]/[▶]ボタンで、フォルダを選ぶ。 MP3トラックが記録されているディスク内のフォルダを選択することができます。</p>
3 	<p>フォルダ内のトラックにアクセスするには、FOLDER [▼]ボタンを押す。 対象のフォルダ内の最初のトラック名が表示されます。 FOLDER [◀]/[▶]ボタンで、フォルダ内のトラックを選択することができます。</p>  <p>他のフォルダを選びたいときは、FOLDER [▲]ボタンを押し、次にFOLDER [◀]/[▶]ボタンを操作します。</p>

■選択したトラックを再生する

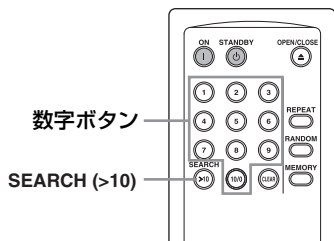
選択したトラックを再生するには、PLAY [▶]ボタンを押します。

便利な機能：フォルダを選択中に、PLAY [▶]ボタンを押すと、フォルダ内の最初のトラックから再生が始まります。

■ナビゲーションモードまたはオールフォルダモードを解除する

MP3トラックを選択中にナビゲーションモードまたはオールフォルダモードを解除するには、STOP [■]ボタンを押します。

基本再生 (つづき)

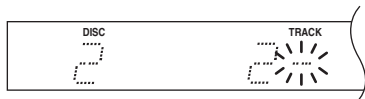


トラックを番号で選択する

番号でトラックを選択します。

リモコンの数字ボタンで、再生したいトラックの番号を入力する。再生は自動で始まります。トラック番号1から10までは、対応する番号のボタンを押します。11以降のトラック番号については、[SEARCH] (>10) ボタンを押し、順に番号を入力します。例えば、トラック番号25を入力するには、[SEARCH] (>10) [2]、[5]を押します。

リモコン
SEARCH



ヒント

- MP3ディスクについては、現在のフォルダ内のトラックを選択することができます。

MP3フォルダとトラックを番号で選択する

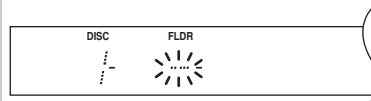
番号でMP3フォルダとトラックを選択します。

1

リモコン
SEARCH



表示部のFLDRインジケータの下に「-」が表示されるまで、[SEARCH] (>10) ボタンをくり返し押す。



ディスクのフォルダ数が10を超えている場合には、「-」が表示されます。

2

リモコン



数字ボタンでフォルダ番号を入力する。

番号は左から順に入力します。例えば、フォルダ番号25を入力するには、[2]を押してから[5]を押します。フォルダ名が表示されます。

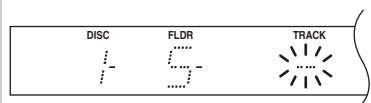
3

リモコン
SEARCH



[SEARCH] (>10) ボタンをもう一度押す。

TRACKインジケータの下に「-」が表示されます。



4

リモコン



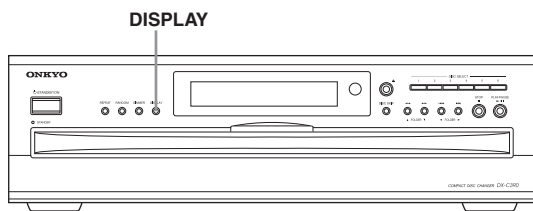
数字ボタンでトラック番号を入力する。

再生は自動で始まります。フォルダにあるトラック数が100を超える場合、一桁のトラック番号と二桁のトラック番号の前には0 (ゼロ) をつけるようにしてください。例えば、トラック番号32を入力するには、[0]、[3]、[2]を押します。

便利な機能：ディスク内のMP3トラックはフォルダを指定せずに選択することができます。この操作は次のように行います。：

- 1.FLDRインジケータが消灯し、TRACKインジケータの下に「-」が表示されるまで、[SEARCH] (>10) ボタンをくり返し押す。
- 2.数字ボタンでトラック番号を入力する。
ディスク内のトラックは階層順に番号付けされています。再生は自動で始まります。

基本再生 (つづき)



情報を表示する

トラックの残り時間、ディスクの残り時間、ディスク名、トラック名、MP3トラックのタイトル名タグやアーティスト名タグなどのID3タグなど、さまざまな情報を表示します。

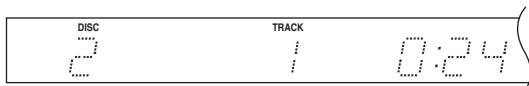
DISPLAY



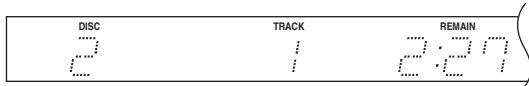
再生中に[DISPLAY]ボタンをくり返し押し、下記の順で情報を表示します。

■オーディオCD

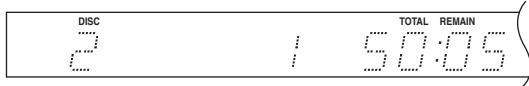
トラック経過時間：現在のトラックの再生済みの時間です（初期設定）。



トラック残り時間：現在のトラックの残り再生時間です（REMAINインジケーターが点灯します）。

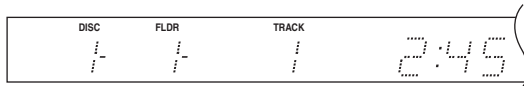


ディスク残り時間：ディスク全体の残り再生時間です（REMAINインジケーターとTOTALインジケーターが点灯します）。

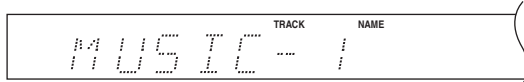


■MP3ディスク

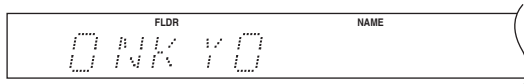
トラック経過時間：現在のトラックの再生済みの時間です（初期設定）。



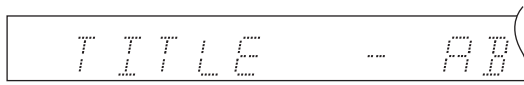
トラック名：現在のトラック名です。



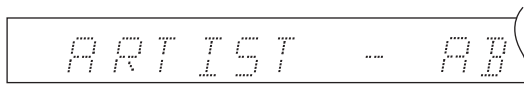
フォルダ名：現在のフォルダ名です。



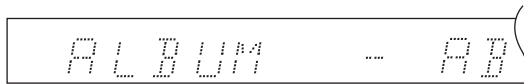
タイトル名：現在のトラックのタイトルです（ID3タグが設定されている場合）。



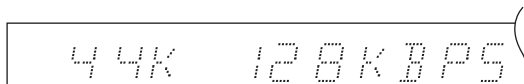
アーティスト名：アーティスト名です（ID3タグが設定されている場合）。



アルバム名：アルバム名です（ID3タグが設定されている場合）。



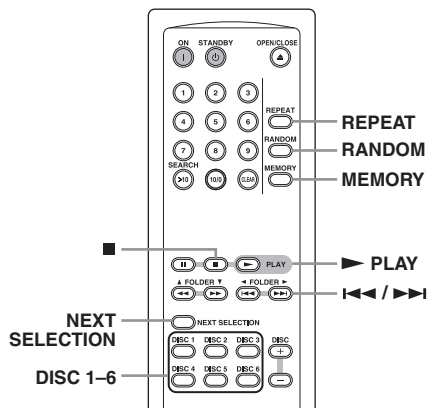
サンプリングレートとビットレート：現在のトラックのサンプリングレートとビットレートです。



ヒント

- 再生停止中にディスク名を表示するには、[DISPLAY]ボタンを押します。
- トラック名やフォルダ名に表示できない文字が含まれる場合、「TRACKn」や「FOLDERn」（「n」はトラック番号またはフォルダ番号）のように表示されます。本機で、表示できない文字を _ _ _ に置き換えて表示するように設定できます（→ P 23）。

いろいろな再生機能



次のトラックや次のフォルダ、次のディスクへ移動する

次項選択機能で、次に再生したいトラック、フォルダ、またはディスクへ移動することができます。

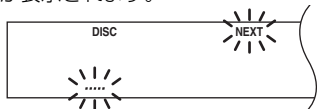
1

リモコン



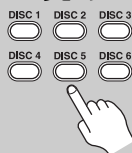
再生中に[NEXT SELECTION]ボタンを押す。

表示部でNEXTインジケーターが点滅し、DISCインジケーターの下に「_」が表示されます。

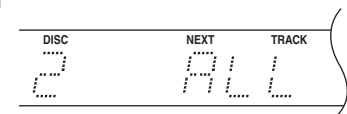


2

リモコン



ディスク選択ボタンでディスクを選ぶ。



ディスク内のすべてのトラックを示す「ALL」が表示部に表示されます。
[NEXT SELECTION]ボタンで全てのディスクの選択設定を確定します。

3

リモコン

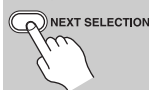


[<<]/[>>]ボタンでトラックを選ぶ。

MP3ディスク内のトラックまたはフォルダを個別に選択するには、オールフォルダモードを使用することができます(→ P 16) (この場合、再生を停止する必要はありません)。
数字ボタンでトラックやフォルダを選択することもできます(→ P 17)。この場合、トラック番号が入力されていると、次項選択機能が設定されます。
フォルダ内のすべてのMP3トラックを再生する場合は、再生したいフォルダを選択してください。

4

リモコン



[NEXT SELECTION]ボタンで、もう一度次項選択機能を設定する。

ディスクを指定している場合には、現在のディスクの再生が完了したときに指定したディスクの再生が始まります。フォルダ、トラックの場合も同様です。

■次項選択機能を取り消す

次項選択機能を取り消すには、[NEXT SELECTION]ボタンを押します。指定したトラック、フォルダ、またはディスクの番号が表示部上で点滅します。次に[CLEAR]ボタンを押し、[NEXT SELECTION]ボタンを押します。NEXTインジケーターが消灯します。

■指定したトラック、フォルダ、またはディスクを変更する

指定したトラック、フォルダ、またはディスクを変更する場合は、[NEXT SELECTION]ボタンを押します。指定したトラック、フォルダ、またはディスクの番号が表示部で点滅します。上記の手順で別のトラック、フォルダ、またはディスクを選択し、[NEXT SELECTION]ボタンを押します。

⚠️注意

- 現在のディスク以外のディスクに記録されたフォルダまたはトラックを指定した場合、フォルダ名またはトラック名は表示されません。
- メモリー再生中(→ P 21)またはランダム再生中(→ P 20)に次項選択機能を設定した場合は、現在のトラックの再生が終了すると、次に指定されたトラック、フォルダ、またはディスクの再生が始まります。メモリー機能またはランダム機能は取り消されません。
- 次項選択機能を設定後に以下の操作をすると、次項選択機能は取り消されます。
 - ディスク選択ボタン、[DISC SKIP]ボタン、[<<]/[>>]ボタン、リモコンのDISC [+]/[-]ボタンを押す
 - 数字ボタンで別トラックを選択する
 - [■]ボタンで再生を停止する
- 次項選択機能の動作は一度のみ有効です。指定トラック、フォルダ、またはディスクを再生すると、次項選択機能はリセットされます。

いろいろな再生機能 (つづき)




すべてのディスクをリピート再生する

読み取られたすべてのディスクをリピート再生します。

<p>1</p> <p>リモコン REPEAT</p> 	<p>[REPEAT]ボタンを押す。 REPEATインジケータが点灯します。</p> 
<p>2</p> <p>リモコン PLAY</p> 	<p>PLAY [▶]ボタンを押す。 読み取られたすべてのディスクがリピート再生されます。 リピート再生は、ランダム再生とメモリー再生に対してのみ使用することができます。</p>
<p>3</p> <p>リモコン REPEAT</p> 	<p>リピート再生を取り消す場合は、[REPEAT]ボタンをもう一度押す。 REPEATインジケータが消灯します。</p>

1トラックまたは1フォルダ、ディスク1枚をリピート再生する

1トラックまたは1フォルダ、ディスク1枚をリピート再生します。





<p>1</p> <p>リモコン MEMORY</p> 	<p>再生中に[MEMORY]ボタンをくり返し押し、次の項目を順に表示する。 T：現在のトラック F：現在のトラックが記録されたフォルダ (MP3のみ) D：現在のトラックが記録されたディスク 「T」、「F」、または「D」の文字が表示部の左側に表示されます。</p> 
<p>2</p> <p>リモコン REPEAT</p> 	<p>[REPEAT]ボタンを押す。 トラック、フォルダ、またはディスクがリピート再生されます。</p>

ご注意

- この操作により、作成されたプレイリストは削除されます。

ランダム再生を使用する

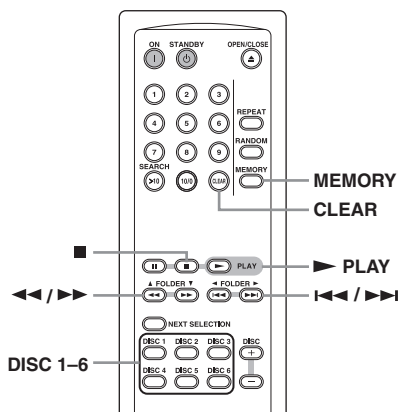
ランダム機能で、読み取られたすべてのディスクからトラックをランダムに再生することができます。

<p>1</p> <p>リモコン RANDOM</p> 	<p>[RANDOM]ボタンを押す。 RANDOMインジケータが点灯し、読み取られたすべてのディスクからランダムにトラックが再生されます。 ランダム再生は、すべてのトラックが一度再生すると終了します。</p> 
<p>2</p> <p>リモコン</p>  <p>または</p> 	<p>ランダム再生を取り消すには、[■]ボタンまたは[RANDOM]ボタンを押す。 RANDOMインジケータが消灯します。</p>

ご注意

- ランダム再生は、リピート再生と組み合わせて使用することができます。その場合、すべてのトラックが一度再生された後もランダム再生は継続します。
- ランダム再生は、メモリー再生と組み合わせて使用することができます (→ P 21)。メモリープレイリストにディスクまたはフォルダがある場合で、いずれかのディスクまたはフォルダが再生中のとき、ディスクの場合はディスク内のトラックのみがランダム再生されます (フォルダの場合は、フォルダ内のトラックのみがランダム再生されます)。そのディスク内のすべてのトラックまたはそのフォルダ内のすべてのトラックが一度再生されるまで、他のトラックは再生されません。
- ランダム再生中は、ディスク選択ボタン、[DISC SKIP]ボタン、リモコンのDISC [+]/[-]ボタン、数字ボタンを使用することはできません。
- ランダム再生中でも、ディスクは読み取り/読み取り取り消しをすることができます。1つのディスクをトラック数の異なる他のディスクと交換した場合、交換後のディスク内のすべてのトラックがランダム再生の対象となります。ディスクのトラック数が同じ場合は、再生済みトラック番号と同じ番号のトラックは再生されません。

いろいろな再生機能 (つづき)



メモリー再生を使用する

メモリー機能を使用して、トラック、ディスク、またはフォルダを指定して、最大40項目のプレイリストを作成することができます。

1 リモコン MEMORY

停止中に、[MEMORY]ボタンを押す。
MEMORYインジケーターが点灯します。

2 リモコン DISC 1-6

ディスク選択ボタンでディスクを選ぶ。

ディスク内のすべてのトラックを示す「ALL」が表示部に表示されます。ディスク全体をプレイリストに追加するには、[MEMORY]ボタンを押します。

3 リモコン

[|◀◀|/|▶▶|]ボタンでトラックを選ぶ。

ナビゲーションモードまたはオールフォルダモードで、MP3ディスク内のトラックまたはフォルダを個別に選択することができます (→ P 16)。数字ボタンでトラックやフォルダを選択することもできます (→ P 17)。この場合、トラック番号を指定すると、その項目がプレイリストに追加されます。フォルダ内のすべてのMP3トラックを追加する場合は、追加したいフォルダを選択してください。

4 リモコン MEMORY

[MEMORY]ボタンで、選択したトラックまたはフォルダをプレイリストに追加する。

2秒後、プレイリストの合計時間が表示されます。

手順2から手順4までをくり返し、トラック、ディスク、またはフォルダをプレイリストに追加します。40項目を超えて追加しようとした場合には、「FULL」メッセージが表示部で点滅します。

5 リモコン PLAY

PLAY [▶]ボタンを押す。
プレイリスト内の項目が、追加された順序で再生されます。

ご注意


- メモリー再生中、総残り時間はプレイリストの残り時間となります。総残り時間が99分59秒を超える場合で、プレイリストが複数のディスクからの項目を含む場合や複数のMP3トラックを含む場合、総残り時間は表示できず、「--:--」と表示されます。
- 存在しないトラックまたはディスクが指定された場合でも、プレイリストには追加されますが、メモリー再生時には無視されます。

いろいろな再生機能 (つづき)

■プレイリストの内容を確認する

1

DISPLAY



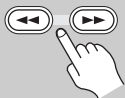
停止中に、ディスプレイに「P-n」が表示されるまで[DISPLAY]ボタンをくり返し押す（「n」は項目の番号）。

下図の場合、プレイリストには合計で16トラックが収容され、ディスク#1のフォルダ#12内のトラック#8が最終トラックとなります。

DISC	FOLD	TRACK	
MEMORY	1 12	8	P- 16

2

リモコン



【◀▶】/【▶▶】ボタンでプレイリストをスクロールする。


プレイリスト内の各項目のディスク番号、フォルダ番号、およびトラック番号が表示されます。

下図では、プレイリストの2番目がディスク#2のトラック#4を示しています。

DISC	TRACK	
MEMORY	2	4 P- 2

3

リモコン




最終項目が表示されたら、【■】ボタンを押す。

DISC	FOLD	TRACK	TOTAL	REMAIN
MEMORY	1 12	8	--	-- : --

■メモリー再生を取り消す

リモコン
MEMORY




メモリー再生を取り消すには、[MEMORY]ボタンをくり返し押し、MEMORYインジケーターをオフにする。

メモリー機能はオフになり、プレイリストは削除されます。

ランダム機能とメモリー再生を同時に使用している場合は、メモリー再生を取り消す前に、ランダム機能をオフにする（[RANDOM]ボタンを押す）必要があります。

■プレイリストの最終項目を削除する

リモコン



プレイリストの最終項目を削除するには、再生停止状態で、[CLEAR]ボタンを押す。

プレイリストの最終項目が削除されます。

MP3 とオートパワーダウン

MP3とオートパワーダウンを設定する

MP3ディスクとオートパワーダウン機能についてお好みの設定をします。お好みの設定には、「BASIC ITEMS」と「EXTRA ITEMS」の2種類があります。お好みの設定は、リモコンではなく、本機のボタンを使用します。

1. 再生を停止する。

メモリー機能がオンの場合は、オフにします。

2. 表示部に「SETTING」が表示されるまで STOP

■ ボタンを長押しする（約4秒）。

3. STOP ■ ボタンをもう一度押す。

表示部に「BASIC ITEMS」が表示されます。

4. [◀◀]/[▶▶] ボタンで「BASIC ITEMS」または「EXTRA ITEMS」を選択し、STOP ■ ボタンを押す。

5. [◀◀]/[▶▶] ボタンで最初の設定を選択し、STOP ■ ボタンを押す。

項目が設定され、次の項目が表示されます。

6. 手順5をくり返し、その他の項目を設定する。

グループ内のすべての項目が設定されると、最初の項目が再表示されます。

設定を終了する場合は、[STANDBY]ボタンを押します。本機はスタンバイモードとなります。

「BASIC ITEMS」と「EXTRA ITEMS」の項目については、次のとおりです。各項目の設定値は（ ）内に示します。

/（スラッシュ）の左側に記載の設定値（表示）が初期設定となります。

■ BASIC ITEMS

DISC NAME (DISPLAY/NOT DISPLAY)

MP3ディスクの読み取り時に、ディスク名を表示するかどうかを設定します。

TRACK NAME (SCROLL/NOT SCROLL)

MP3トラックの選択時に、表示部でトラック名をスクロールするかどうかを設定します。

FOLDER NAME (SCROLL/NOT SCROLL)

MP3フォルダの選択時に、表示部でフォルダ名をスクロールするかどうかを設定します。

BAD NAME (REPLACE/NOT REPLACE)

表示できない文字を含むトラック名およびフォルダ名を「TRACKn」または「FOLDERn」（「n」はトラック番号またはフォルダ番号）で置き換えるかどうかを設定します。「NOT REPLACE」に設定した場合、表示できる文字が表示され、表示できない文字はすべて下線で表示されます。

ID3タグについては、この項目での設定に関わらず、表示できない文字はすべて下線で表示されます。

APD (オートパワーダウン) (OFF/ON)

このプリファレンスはオートパワーダウン機能のOFF/ONを設定します。ONに設定した場合、再生が停止し、30分間操作しなかった場合に、オートパワーダウン機能が自動で本機をスタンバイに設定します。



ご注意

TRACK NAMEおよびFOLDER NAMEの設定に関わらず、ナビゲーションモード（➡ P 16）では、トラック名およびフォルダ名がスクロールされます。

MP3 とオートパワーダウン (つづき)

■EXTRA ITEMS

ID3 VER 1 (READ/NOT READ)

バージョン1.0/1.1のタグを読み込み、表示するかどうかを設定します。「NOT READ」に設定した場合、バージョン1.0/1.1のタグは表示されません。

ID3 VER 2 (READ/NOT READ)

バージョン2.3/2.4のタグを読み込み、表示するかどうかを設定します。「NOT READ」に設定した場合、バージョン2.3/2.4のID3タグは表示されません。

CD-EXTRA (AUDIO/MP3)

このプリファレンスはCD EXTRAディスクに適用され、オーディオセッション内の音楽またはデータセッション内のMP3トラックを再生するかどうかを設定します。

JOLIET (USE SVD/ISO9660)

JolietフォーマットのMP3ディスクに適用され、本機がSVDデータを読み取るか、あるいはディスクをISO 9660ディスクとして扱うかを設定します。通常、このプリファレンスを変更する必要はありません。

SVD (Supplementary Volume Descriptor) は、長いファイル名/フォルダ名、およびアルファベットや数字以外の文字をサポートします。CD作成ソフトウェアには、Jolietフォーマットを「Windows format」としているものがあります。

MP3設定を初期化する

MP3設定を初期化します。

この手順については、リモコンではなく、本機のボタンを使用します。

1. 再生を停止する。

メモリー機能がオンの場合は、オフにします。

2. 表示部に「SETTING」が表示されるまで STOP

■ ボタンを長押しする (約 4 秒)。

3. [◀◀]/[▶▶] ボタンを押す。

表示部に「INITIALIZE」が表示されます。

4. STOP ■ ボタンを押す。

表示部に「CANCEL」が表示されます。

5. [◀◀]/[▶▶] ボタンで「EXECUTE」を選ぶ。

この手順を取り消す場合は、「CANCEL」を選択します。

6. STOP ■ ボタンを押す。

MP3設定が初期化され、表示部に「INITIALIZED」が表示されます。本機はスタンバイモードになります。

困ったときは

本機を使用中に問題が生じた場合は、下記を参照して原因を特定し、ご対応ください。問題が解決できない場合には、販売店または修理窓口にご連絡ください。

症状	原因	処置
電源が入らない。	電源コードが正しく接続されていない。	電源プラグがコンセントから抜けていないか確認してください (➔ P 13)。
リモコンが機能しない。	リモコンに電池が入っていない。	新しい電池を入れてください (➔ P 10)。
	電池が消耗している。	新しい電池に交換してください (➔ P 10)。
	電池が正しく入れられていない。	電池の極性を確認し、正しく入れてください (➔ P 10)。
	リモコンが本機のリモコン受光部に向いていない。	リモコンを本機のリモコン受光部に向けてください (➔ P 10)。
	リモコンが本機から離れすぎている。	本機に近づいてリモコンを使用してください (➔ P 10)。リモコンの使用可能範囲は約 5 m です。
	本機のリモコン受光部に対して、強い光源が当たっている。	直射日光やインバーター型蛍光灯などの強い光が本機に当たっていないか確認してください。必要に応じて配置場所を変えてください。
	本機を色付きのガラスドアのあるキャビネットに配置した場合、ドアを閉じた状態にしている。	ドアを開けて操作するか、あるいは色付きのガラスのないキャビネットを使用してください。
CD を再生できない。	ディスクの裏表が正しくない。	ディスクは、ラベル面を上にしてセットしてください (➔ P 13)。
	ディスクが汚れてる。	ディスクを取り除き、お手入れしてください (➔ P 6)。
	本機の内部が結露している。	ディスクを取り出し、本機をオンにした状態で、結露がなくなるまで数時間放置してください。
	CD-R/CD-RW ディスクが標準的なディスクではない。	「ディスクに関する注意事項」を参照してください。 (➔ P 5)
音が鳴らない。	本機が正しく接続されていない。	すべての接続を確認し、誤った接続があれば正しく接続しなおしてください。
	アンプ側で正しい入力切替が選ばれていない。	アンプの入力切替を確認してください。お使いのアンプの取扱説明書をご覧ください。
CD 再生がスキップされる。	本機に振動が加わっている。	本機を振動が伝わらない場所に配置してください。
	ディスクが汚れている。	ディスクを取り除き、お手入れしてしてください (➔ P 6)。
	ディスクが傷ついている。	ディスクを交換してください。
メモリー再生でトラック番号が入力できない。	ディスクが読み取られていない。	ディスクを読み込んでください (➔ P 13)。
	入力したトラック番号がディスクに存在しない。	正しいトラック番号を入力してください (➔ P 17)。
トラックの認識に時間がかかる。	ディスクが汚れている。	ディスクを取り出し、お手入れしてください (➔ P 6)。
	ディスクが傷ついている。	ディスクを交換してください。
RI が作動しない。	オーディオ用ピンケーブルで接続されていない。	RI を使用するには、本機とお使いのオンキヨー製機器をデジタルケーブルで接続している場合でも、オーディオ用ピンケーブル (RCA/PHONO) も接続してください。
デジタル出力が機能しない。	現在再生中の MP3 トラックのサンプリングレートが 32kHz、44.1kHz、または 48kHz になっていない。	サンプリングレート 32kHz、44.1kHz、48kHz のトラックを選択してください。

異常動作について

本機はマイクロコンピューターにより高度な機能を実現していますが、ごくまれに外部からの雑音や妨害ノイズ、また静電気の影響によって誤動作する場合があります。そのようなときは、電源プラグを抜いて、約5秒後にあらためて電源プラグを差し込んでください。

仕様

■ 本体 (DX-C390)

読み取り方式:	非接触光学式
周波数特性:	5 Hz - 20 kHz
SN比:	107dB
ダイナミックレンジ:	98 dB
THD (全高調波歪率):	0.004%
音声出力 (デジタル/光):	-22.5 dBm
音声出力/インピーダンス (デジタル/同軸):	0.5 V (p-p) /75 Ω
音声出力/インピーダンス (アナログ):	2.0 V (rms) /540 Ω
電源・電圧:	AC 100V 50/60 Hz
消費電力:	10 W 0.12 W(待機時)
外形寸法 (幅×高さ×奥行):	435 × 131 × 432 mm

重量:	6.8 kg
許容動作温度:	5 °C - 35 °C
再生可能ディスク:	オーディオCD、CD-R、 CD-RW MP3 (CD-R、CD-RW) ※ファイナライズされてい ないディスクは、正しく再 生できない場合があります。

■ リモコン (RC-777C)

送信機	赤外線
受光範囲:	約5 m
単3形乾電池 × 2	

※仕様および外観は予告なく変更することがあります。
他社製品との接続により生じたいかなる損害に対しても、当社では責任を負いかねます。

© Copyright 2022 Onkyo Technology, K.K. All rights reserved.

SN 29403821A

O2207-1



* 2 9 4 0 3 8 2 1 A *